

平成30年9月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
9/11(火) 午前	1	村井 勝彦	一問一答	1
	2	山田 貴子	一問一答	3
	3	戸塚 文彦	一括	5
9/11(火) 午後	4	高橋 美博	一問一答	7
	5	大庭 通嘉	一問一答	9
	6	佐野 武次	一括	11
9/12(水) 午前	7	伊藤 謙一	一問一答	12
	8	浅田 二郎	一問一答	14
	9	岡本 幹男	一括	15
9/12(水) 午後	10	近藤 正美	一括	17
	11	木下 正	一問一答	18
	12	竹野 昇	一問一答	20
9/13(木) 午前	13	寺田 守	一括	22
	14	森杉 典子	一括	24
	15	戸塚 哲夫	一括	25
9/13(木) 午後	16	田中 克周	一括	27

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	袋井市消防団の課題解決に向けての取り組み 火災、大規模地震などの有事において、地域の安心安全を確保する意味からも消防団は必要不可欠である。 (1) 減少傾向にある消防団員の確保に向けてどのような取り組みをしているか。 (2) 平成24年度に設置された「消防団活性化検討委員会」において、消防団の活性化に向けてどのような検討を行い、対策を行ってきたか。 (3) 消防団活動における企業等の理解や協力体制はいかがか。 (4) 消防団員に対する支援等において問題はないか。 ア 消防団に対して消防団運営交付金は、どのような基準に基づき算定し交付しているか。 イ 消防団員の報酬額および費用弁償支給額は、どのような基準により決定し支給されているか。 ウ 道路交通法の改正に伴い、消防車両の重量により運転が規制されたが、現在の消防団員の運転免許証の実態は把握しているか。また、新たに入団した団員等において消防車両の運転ができなくなる可能性があるが、今後どのように対応するのか。				市長
2	ラグビーワールドカップ2019に向けての取り組み 来年、ラグビーワールドカップ2019が開催されるが、このスポーツイベントに向けての準備等に早期の取り組みが求められる。 (1) ラグビーワールドカップ2019における外国人観戦客の宿泊施設として、袋井版ホームステイが計画されているが、観光庁から示されているイベント民泊のガイドラインに沿った運営が行われるか。 ア 観戦者数に対して周辺宿泊施設を含む宿泊施設数は、どの程度不足すると見込んでいるか。 イ エコパスタジアムにおいては、延べ4日間の試合が行われるが、この間で試合ごとにホームステイする外国人観戦者の入れ替わりはあるか。 (2) 袋井版ホームステイに係る事業費はどの程度となる見込みか。				市長

質問順序	1	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>(3) ラグビーワールドカップ2019の開催に伴う本市独自のおもてなしゾーンの開設に向けた検討状況はどうか。</p> <p>ア おもてなしゾーンはどのような構想により開設するのか。</p> <p>イ おもてなしゾーンに地域行事などの特色を持たせてはどうか。</p>					市長

質問順序	2	議席番号	7	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	宇刈いきいきセンターの指定管理 宇刈いきいきセンターは、一般廃棄物最終処分場受け入れに伴う地元要望事業として、平成17年3月に開館した施設です。地域の皆様の協力の下、平成18年度から指定管理者制度により運営を行ってきましたが、今年度で指定管理を受けないとのことです。そこでお伺い致します。 (1) 指定管理委託料はどのように算定して出た数字なのかお伺いします。 (2) 宇刈いきいきセンターの指定管理者会計収支は把握していますか。 (3) 公民館がコミュニティセンターになりましたが、宇刈いきいきセンターは、山名コミュニティセンターの分館扱いにするという考えはありませんか。 (4) 地元の要望でもありました事務職員の配置を考えていただきましたか。 週3日または半日体制でも結構です。今の委託料では人件費はとて出せません。 (5) 宇刈の人口はまだ増え続けています。世帯数は2,035世帯で人口は6,089人です。この数字より低い地区が8コミュニティセンターあります。宇刈いきいきセンターでの利用者も平成29年度は7,678人いました。この建物を無人にしているのですか。今まで地元の方が育ててきた会館ですが、今後、指定管理を受けないと自治会では結論が出ました。市として今後の運営方針をお伺いします。				市長
2	全国学力・学習状況調査 文部科学省は7月31日、全国の小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施した2018年度の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を公表しました。本市の結果についてお伺い致します。 (1) 掛川市教育委員会は8月7日に結果を発表しました。中学校は、全5科目で全国平均を上回り、そのうち数学Bは全国トップクラスを5年連続で維持しています。本市の結果はどうでしたか。 (2) 学習状況調査は、全国平均と比較してどうでしたか。 (3) 新聞を読む頻度とテストの正答率との関係が文部科学省で分析されました。本市ではどうでしたか。				教育長

質問順序	2	議席番号	7	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p style="text-align: center;">《一問一答》</p> <p>(4) 昨年度の取り組みに対して今年度はどのような取り組みをしますか。</p> <p>(5) 文部科学省は、来年度以降、知識と活用を一本化し時間短縮すると公表しましたが、その対策も考えていますか。</p>					教育長
3	育児休業・介護休暇の環境整備				市長
<p>(1) 男性職員の育児休業や介護休暇を気楽に取得できる状況になりましたか。</p> <p>(2) 平成27年度に袋井市特定事業主行動計画を改定した。男性職員の配偶者出産休暇取得率の目標値は今年度クリアできますか。</p> <p>(3) 働き方改革により、ワーク・ライフ・バランスの確立は進んでいますか。</p> <p>(4) 在宅勤務「テレワーク」の導入の可能性はありますか。</p>					
4	ふるさと納税				市長
<p>ふるさと納税が始まって10年経ちました。そこでお伺い致します。</p> <p>(1) 総務省調査でふるさと納税による2017年度の寄附総額は3,653億円で、5年連続で過去最多を更新しました。本市ではどうでしたか。</p> <p>(2) 総務省は2017年4月、返礼品を寄附額の3割までとするよう要請をしましたが、本市の返礼品の割合は何割ですか。</p> <p>(3) 今年度の目標額と人気のある返礼品を伺う。</p> <p>(4) 来年度に向けての目標額と意気込みを伺う。</p>					

質問順序	3	議席番号	19	質問者	戸塚 文彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	南海トラフの地震対策 南海トラフで巨大地震発生の可能性が高まった場合、気象庁が臨時の情報を発表することになっている。 (1) 臨時情報が発表された場合、本市として避難勧告などを出す検討をしているか伺う。 (2) 情報が出た場合に自治体としてどのような行動や対応をすべきか、しっかりと方針を出す必要があるが、その検討はされているか。				市長
2	袋井駅南まちづくり事業 JR袋井駅周辺を都市の中心核と位置づけ、住環境の整備や商業・医療施設の誘致など、にぎわいとうるおいのあるまちづくりに取り組んでいる。 (1) 民間事業者が主体となって進める商業地区の事業推進において、大幅に遅れている感があるが、商業施設の誘致の状況と今後の見通しはどうか伺う。 (2) メディカル地区の誘致状況とその成果はどうか伺う。 (3) 袋井駅南口利用者の利便性を配慮し駐輪料を無料にしているが、今後の南口駐輪場設置の具体的な予定はどうか伺う。				市長
3	農業担い手育成事業 本市は、県内でも有数の農業地帯である。本市農業を支える元気な担い手農家の確保は、重要課題である。先日視察において富良野市の「農業担い手育成事業」を学んだ。市内の農業団体が集結し「富良野市農業担い手育成機構」を設立し、新規参入者や親元就農者の就農支援、農業従事者の確保と育成を一元的に行い、将来にわたって寄与する人材の確保に成果を上げている。 (1) 本市の取組状況と課題と対応について伺う。 (2) 「経営相談」や「市民農業講座」などを開催しているが、それをさらに発展させ本市独自の若手農業者を育成する考えはないか伺う。				市長
4	公共交通の対応 遠州鉄道株が運行するバス路線の廃止に伴う廃止後の対応について (1) 一般利用者への対応のうち法多線について、デマンドタクシーの導入を考えているようだが具体的方法を伺う。				市長

質問順序	3	議席番号	19	質問者	戸塚 文彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>《一括》</p> <p>(2) 地元住民はまだ何も説明を受けておらず、理解は得られているのか。</p> <p>(3) 法多線の廃止は、法多山の観光振興にも影響が出てくると思われる。市としてこれをどのように考えているのか。またその対応策は。</p>					市長

質問順序	4	議席番号	16	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	大阪府北部地震の教訓、ブロック塀の点検・安全確保について 大阪府北部地震において、ブロック塀が倒壊し、登校中の小学4年生の女児が倒壊したブロック塀の下敷きとなり、亡くなるという痛ましい事故が起きた。改めて市がブロック塀の安全対策をどう進めるのか伺う。 (1) ブロック塀の緊急点検の結果と、通学路の再点検、児童生徒への指導はどうか。 (2) 広報ふくろいの配布に合わせ、家具の転倒防止や危険なブロック塀などの撤去を呼びかけるチラシを配布したが、その効果はどうか。 (3) ブロック塀の調査把握を専門家でない自主防災隊に依頼するとしているが問題はないか。調査の目的と、その後の対策、手順はどうか。				市長 教育長
2	西日本豪雨災害の教訓について この豪雨は重大な被害を広範な地域に同時多発的に発生させたかつてないものであり、様々な課題を浮き彫りにした。この経験をもとに、今後の対策を伺う。 (1) 気象庁は早い段階から避難勧告、避難指示、特別警報までと異例の警告を出していたが住民には十分に伝わらず、結果、避難の遅れにつながった。避難情報をリアルに受け止めていただく方策をどう考えているか。 (2) ハザードマップの改めての周知、認知の徹底をどう進めていくのか。 (3) ため池の安全管理を今後どのように進めていくのか。 (4) 豪雨により多くの太陽光発電所が浸水や土砂崩れの被害に遭った。市長は開発を規制する条例制定の考えを示しているが、その内容はどうか。				市長
3	記録的な猛暑に対する対応について 今年は日本列島全体が猛暑に見舞われ、最高気温、猛暑日の日数を更新。「命の危険に関わる暑さ」が連日続き、熱中症対策が求められる。市の対応を伺う。 (1) 生活保護世帯など生活困窮世帯へのエアコン設置への助成はどうか。 (2) 市長は市の教育施設にエアコンを設置するとしているが、その内容はどうか。				市長 教育長

質問順序	4	議席番号	16	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
	<p>ア 全国の設置率、県平均の設置率に比べ、市の設置率が低くなっている要因</p> <p>イ 年次計画、優先順位</p> <p>ウ 推進する上での課題、需用費の予測</p> <p>エ 財源の確保</p> <p>(3) 夏季休業期間など今後の長期休業期間の在り方についてどう考えているか。</p>				市長 教育長	

質問順序	5	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	老人福祉施設について 老人福祉センター「白雲荘」の施設利用がシニアクラブ袋井市による指定管理の方針が新聞で報道された。今後の老人福祉施設の在り方を改めて整理・共有するために市の基本方針（施設や指定管理の在り方）と今後の進め方を伺う。 (1) 老人福祉施設設置に対する市の基本的な考え方は。 (2) 風見の丘への移転方針をなぜ白雲荘に戻したのか。 (3) 公共施設マネジメントの観点から見た利用可能年数は。 (4) 白雲荘の耐震性は大丈夫と判断しているか。 (5) 空調・給水設備等の保全改修方針は。 (6) 指定管理者へのこれまでの適切な指導と総括、および新指定管理者も法や条例に沿った運営が可能か。 (7) 施設利用実態と分析、指定管理者に求めるものは。 (8) 風見の丘の高齢者利用実態と今後の推計は。 (9) 指定管理経費の1,800万円から1,100万円への減額の積算根拠と今後のシニアクラブへの市の支援策は。				市長
2	人事問題について 市行政改革大綱の中で人材育成と意識改革を進めるという方針の下、人事評価制度や目標管理を導入しているが、その推進状況と成果を伺う。また、昨今問題となっている障害者雇用状況についても伺う。 (1) 地方公務員法改正施行後3年が経過するが導入後の状況は。 ア 人事評価制度の成果と課題は。 イ 個人・部・課・係など目標管理の推進状況は。 ウ 人事評価S～Dの分布と適切な制度運用は。 エ 人事評価・目標管理の人材育成への活用は。				市長

質問順序	5	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
(2) 障害者雇用の状況は。 ア 県内23市中、最下位の雇用率をどう改善するか。					市長

質問順序	6	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	災害時の避難所への空調施設の整備とスポーツ施設の改善について <p>(1) 市は、幼稚園や小・中学校に空調機を設置する考えを示されたが、一方で、災害時の避難所として体育館が指定されている所もある。 しかし、夏場は非常に暑く、特に高齢者には、かなりの負担となっている。今回の整備と合わせ、スポットクーラーなどの整備を行い、避難所の環境改善を図る必要があると思うが、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 浅羽球技場のナイター施設は、2基が撤去された状態にあり、その機能が十分活かされていない。猛暑が続く状況下では、酷暑の時間帯を避けて、施設利用を希望する団体等もあろうかと思う。 施設の修繕を早急に進め、夜間の涼しい時間帯におけるスポーツ環境を整えることが、利用者の健康管理上からも、また、指定管理者の業務内容の拡充等を図る上からも必要と思うが、再度、市の考えを伺う。</p>				市長
2	自転車の安全利用に関する条例の制定について <p>(1) 本市は、平坦な地形が多いことに加え、日照時間も長く、気候も温暖であることなど、自転車利用に適した、恵まれた環境にあることから、「袋井市自転車を活かしたまちづくりの指針」を策定し、まちづくりを進めているが、県内高校生の自転車事故件数は全国で最多となっている。 政策をより理想に近づけるため、自転車保険への加入など、自転車の安全利用に関して、市・市民・事業者の責務を定め、それらが一体となって、自転車利用に関する安全意識を共有し、安全・安心な生活環境を実現するための条例を制定すべきであると考えているが、市の考えを伺う。</p>				市長
3	外来生物への対応について <p>(1) 本市でも、アナフィラキシー症状など、人体にも影響を及ぼす特定外来生物や、稲の食害など農作物に被害を及ぼす外来生物が確認されている。 市では実態調査も実施しているが、こうした調査の結果も踏まえ、今後、これらの外来生物に対しては、どのように対応されていく考えか伺う。</p>				市長

質問順序	7	議席番号	13	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>袋井版「スーパー公務員」の育成について</p> <p>昨今、様々な産業で「なり手不足」を感じる。それに伴い外国人の雇用の増加やI o T社会を背景とした機械化・ロボット化・人工知能化も急速な発展をみせ、「〇〇年後無くなる職業等」のメディアによる記事も多く目にするようになった。仕事の在り方が変わる中、自治体にあっても市民から求められる公務員像が変わると予想される。一方、三重県知事の鈴木英敬氏は「20世紀型の公務員は予算配分と行政指導を行ってきたが、自ら考え、リスクも取りながら政策を立案する、調整型から立案型への転換が21世紀に求められる公務員像ではないか」と提唱し、いわゆるスーパー公務員の育成の重要性を提案している。今後の社会背景の予測の中で、本市においても大きな活躍を期待するスーパー公務員に該当する職員の育成と、それに伴う市の課題や組織の在り方の共有化が求められていると感じるため、以下を伺う。</p> <p>(1) 本市の求める職員像について</p> <p>ア 本市の求める職員像をどのように定義しているか。また、市長にとってこれからの社会背景をベースに職員へ求められる事を伺うとともに、スーパー公務員に関しての见解を伺う。</p> <p>イ 多くの民間企業や団体・組織においてミッション（責務）やビジョン（目的・目標）、クレド（信条）等の総論的な組織の目的や目標を掲げ、労働従事者がその意識を共有し、そして対外へと周知している。本市においてのミッションやビジョンとは。また、目指すべき職員像をミッションやビジョンおよびクレド等に掲げ、具体的に示す必要がないか伺う。</p> <p>ウ 本市にとっての市民サービスの受益者は市民である。市民サービス・窓口対応・電話対応等のアンケートや満足度調査を過去に行ったことはあるか。また、今後行う予定はあるか。</p> <p>(2) スーパー公務員について</p> <p>ア 様々な都市の先進施策の背景にはそれを先導する職員の姿がある。多くの事例では市の課題に対する施策提案や国や県からの財政支援の獲得、それにあたるチームのマネジメント、産学官の連携等が非常に優れている印象を持っているが、本市ではそういった項目を評価する指標や機会があるか。</p> <p>イ 本市の職員と従事する施策に関して袋井版スーパー公務員の紹介とし、市の魅力としてシティプロモーションができないか。</p>				市長

質問順序	7	議席番号	13	質問者	伊藤 謙一	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
(3) 職員研修に関して						市長
<p>ア 社会の変化の中、企業は様々な社員研修や資格取得のための制度を設けている。市は職員育成に関する施策展開や職員研修の内容に関してどのような事業を行っているか伺う。</p> <p>イ 個人的に行政のイメージとして、所属する部署や課以外の施策に関して情報が乏しいと感じている（行政の縦割り）。しかし、一般的な市の課題や財政状況の現状等、本市について学ぶ機会が各職員にも必要ではないかを感じるが、そのような機会があるか伺う。</p> <p>ウ 長野県塩尻市は民間企業とタッグを組み、民間企業の社員と希望する同市の職員による提案型の研修を行っている。一泊二日の事業内では、塩尻市の実際に直面する街の課題をチームごとに課題整理および施策提案し、最終的には首長に対しての政策プレゼンテーションを行っている。本市でも実践できる取り組みだと感じているが、そのような取り組みを参考に新たな研修事業ができないか。</p>						
2 都市間交流に関して						市長
<p>本市は現在いくつかの国内・海外の街と友好または姉妹都市関係にあり、また防災協定や具体的な取り交わしはなくとも友好的な関係にある街も存在している。個人的には市の視野を広げる意味で、また災害を含めた様々なリスクマネジメントの観点からこのような都市間交流は継続していくべきだと考えるため、以下から市の今後の施策に関して伺う。</p> <p>(1) 現状の整理も含め、現在市の交わしている各友好都市および姉妹都市、また都市間交流の現状についてどのようなことを行っているか伺う。</p> <p>(2) それぞれの街との都市間交流の目的は明確となっているか伺う。</p> <p>(3) 市の今後の施策展開を踏まえ、現状友好的な関係にある都市とはそれぞれに政策上、および市民交流等の交流目的に関する覚書の取り交わしを提案するがいかがか。</p> <p>(4) 現状多くの市民にとって袋井市の都市間交流は認知度が低いと感じている。しかしながら、海外姉妹都市であるアメリカのオレゴン州ヒルズボロ市や長野県塩尻市、山梨県北杜市、宮城県岩沼市との交流の軌跡は本市にとって非常に重要な財産を含んでいると感じる。市庁舎1階の休憩スペース等で交流に関係するモノや、各市を紹介するスペースが設置できないか。</p>						

質問順序	8	議席番号	15	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>1 聴覚障がい者（難聴者）の支援を 認知症と「難聴」との関係が明確になってきている。認知症の要因として、「難聴」が9%との数字もあり、難聴者は認知症リスクがそうでない人に比べ1.9倍と言われている。難聴者の自立と社会活動への参加を促進することが重要である。</p> <p>(1) どの程度の難聴者がいると考えているか。</p> <p>(2) 難聴者への対応はどうか。</p> <p>(3) 集団補聴システムの状況と設置・活用は。</p> <p>(4) 補聴器購入補助の現状は。</p> <p>(5) 補聴器購入を保険診療で行えるようにすべきと思うが、どう考えるか。</p> <p>(6) 補聴器購入への市独自の支援を。</p>					市長
<p>2 入札制度の改善を 落札率が99%以上という入札結果が多くみられる。平成29年度工事請負契約（予定価格5千万円以上）の入札結果から、その傾向と問題点を明確にし、業者間の競争性を高める入札制度の改善を求める。</p> <p>(1) 平成29年度の入札結果の概要について。</p> <p>(2) 平成29年度工事請負契約（予定価格5千万円以上）では、半分以上が99%（小数点以下四捨五入）と高い落札率だが。</p> <p>(3) 総合評価方式の状況と評価は。</p> <p>(4) 予定価格を下回る業者が1社というのが多い。業者間の競争性が乏しいように思うが、どのように考えているか。</p> <p>(5) 予定価格公表等の検討を含め、業者間の競争性を高める改善を。</p>					市長

質問順序	9	議席番号	14	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	成年後見制度の推進について 平成12年度に成年後見制度が開始されて以来、財産管理や契約など支援が必要な人へのニーズは増加している。そこで、この制度の推進について次の3点を伺う。 (1) 袋井市の「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」を今後どのようにして構築していくのか。特にその中でも「中核機関」はどこが担い、どのような内容とするのか伺う。また、市町村はこれらを含む「成年後見制度利用促進基本計画」を策定し、平成33年度までの概ね5年間で念頭に、工程表を踏まえた各施策の段階的・計画的な推進に取り組むものとされるが進捗状況はどうか。 (2) 身寄りがない人などの法定後見開始の市長申し立ては、現状機能しているか。対象件数の把握方法と実際の申立件数の実情、近隣自治体との比較、および今後の推進策について伺う。 (3) 袋井市社会福祉協議会では、平成29年4月より法人後見人としての活動を開始した。一方、平成30年3月策定の「袋井市長寿しあわせ計画」によれば、今後増加が予想される後見需要に対して市民後見人の育成に努め、法人後見人との協働体制づくりを進めることが記されている。この具体策について伺う。				市長
2	熱中症対策について 平成30年の猛暑は「災害」との呼称がつけられたほどであり、実際、各地で児童や高齢者の死亡事例が報告された。そこで、袋井市の来年度に向けての熱中症対策について次の2点を伺う。 (1) 既に市長より来年度夏までに市内全小中学校および幼稚園の普通教室と特別教室の全てにエアコンを設置する意向が示された。これについて、対象とする教室に優先順位をつけるのか。また、国の補助金を活用する方法、リース方式の採用など、具体策の選択とともに、タイムスケジュールをいかに設定していくか伺う。設置までの期間短縮や調査設計段階からメンテナンスまで一連の事業として任せられることなどを考慮すれば、リース方式のメリットも大きいと考えられるがどうか。 (2) 高齢者に対する熱中症対策として、来年度夏は各地域のコミュニティセンターのエアコンの効いた部屋を高齢者用に開放してはどうか。さらに、一步を進めれば、各地域の同意を前提として、鍵の管理や消費電力の問題はあるものの、地域の集会所を同様に高齢者向けに開放する施策の具体化はできないか。				市長 教育長

質問順序	9	議席番号	14	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	オープンデータの活用について 8月3日、議会行政視察で訪問した福井県鯖江市では、オープンデータの活用がITを活用した協働のまちづくりとして全国の注目を集めるほどに進んでいた。そこで、袋井市としての今後の活用推進について次の2点を伺う。 (1) 平成28年12月に成立施行された「官民データ活用推進基本法」によれば、市町村による「官民データ活用推進計画」の策定が努力義務とされており、袋井市では、平成30年度内に、これを「第3次袋井市ICT推進計画」として策定予定である。袋井市のオープンデータは、施設や人口統計に関するものが主流であるが、現状のアクセス実績と、今後どのようなものを対象として加え、さらに2次利用の推進をいかに具体化させるのか方針を伺う。また、例えば河川の水位情報は袋井市ではホームページで公開し、鯖江市ではオープンデータとして公開しているが、袋井市は全体を通じてオープンデータとホームページの情報での使い分けをどうするのかなど、取り組みの基本姿勢について伺う。 (2) 先般の新聞記事によれば、袋井市を含む中遠5市町で道路関連データをオープンデータとして自動運転に役立てることなどを目的とする検討部会が発足したとある。具体的にはどのような内容であり、今後予算措置の必要性はあるか。				市長

質問順序	10	議席番号	12	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1 異常気象への対策について	<p>今夏は、7月上旬の西日本豪雨に始まり、全国各地で最高気温が連日30度を大幅に超える記録的な猛暑となり、異常気象の連鎖になっている。本市でも連日の猛暑に対し、同報無線等で熱中症予防の注意喚起を促している。</p> <p>(1) 近年の異常気象を「災害」と捉えた対策をしているか。</p> <p>(2) 異常気象に対する生活要支援者への呼びかけ、支援態勢はどうか。</p> <p>(3) 今夏の熱中症が原因と思われる救急搬送の状況はどうか。</p>				市長
2 全国学力・学習状況調査の結果と対策について	<p>文部科学省は7月末、全国の小学6年と中学3年を対象に4月に実施した本年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表した。本県公立中学3年は、全5種類の調査で全国の平均正答率を上回ったが、小学6年は国語B以外の他の4種類で下回ったという結果が出た。本市の状況はどうか。</p> <p>(1) 本市の子どもたちの調査結果はどうか。また、経年結果で見るとどのような傾向にあるか。それによって本市が取り組む幼小中一貫教育への影響はどうか。</p> <p>(2) 県内の児童生徒の「自己肯定（有用）感」や「自尊感情」は、小学6年、中学3年ともに全国平均を上回っている。本市の子どもたちの実態はどうか。</p> <p>(3) 来年度からA・B問題が統一の形式になるが、袋井版学力・学習状況調査は必要と考えるがいかがか。</p>				教育長
3 全日本学生フォーミュラ大会について	<p>今年も小笠山総合運動公園エコパを会場に、地元静岡理工科大学や海外のチームも含めた約100チームが参加して行われる。大学生のこのフォーミュラ大会は、高校野球でいう夏の甲子園である。そこで市の方針を伺う。</p> <p>(1) この大会に対する市の支援の現状はどうか。</p> <p>(2) この大会を「ふくろい遠州の花火」と同様に、年中行事の一つとして市の活性化に活用できないか。</p>				市長

質問順序	11	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	放課後子ども総合プランの取り組みについて (1) 平成26年度に策定した「放課後子ども総合プラン」に基づき、具体的にどのように推進しているか。 (2) 放課後児童クラブと放課後子ども教室は一体型と連携型とがあるが袋井市の場合、現時点どのようになっているか。 (3) 放課後児童クラブ、放課後子ども教室、学校の先生方による代表者委員会等開催しているか。行っているのであればどのくらいの頻度で開催されているか。 (4) 袋井市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録は、ホームページ等で周知されているか。 (5) この取り組みに関し、お手伝いできる地域の方を何らかの方法で募集しているか。しているのであればその成果はどうか。				教育長
2	避難地、避難所、救護所への取り組み (1) 市内7か所に指定された救護所のインフラ（交通網等）、自家発電、蓄電池、水源の確保などの対策は万全か。 (2) 避難所においても生活確保期に入り、電力供給が復旧すると、冷暖房、洗濯機、電気ポットなど様々な電気器具を使用するため、必要なコンセント数や電気容量を確保することが望ましいと考えるが、市はそのデータを把握しているか。 (3) 避難地として指定している上田町グラウンドはこども園建設予定をしているが、今後の対策は考えているか。 (4) ホームページ上での避難所等の周知は万全であるか。 (5) 地震予知不可能であるとされたが、避難地としてだけ指定されている場所があるが変更する予定はあるか。 (6) 避難所運営マニュアル（概要版）はあるか。				市長

質問順序	11	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	廃止バス路線対策としての地域公共交通に関する今後の方針について (1) 単に廃止路線を他のものに代替するだけでなく、地域の実情や来訪者のニーズを把握したうえで持続可能な地域公共交通網の形成のため地域の方々との間で検討、調整が必要である。そのための協議会は立ち上げるか。 (2) (1)が困難であるときでも地域公共交通は日常生活の重要な移動手段である。住民の協力を含む関係者の連携を図っていくことが必要不可欠であるが、具体的対策は考えているか。 (3) 地域公共交通の活性化は今後まちづくりのための重要な手段となると考える。地域社会全体の価値向上のため、どのような方法を考えているか。 (4) 国、県の地域の取り組みに関する財政的支援は検討したか。				市長

質問順序	1 2	議席番号	5	質問者	竹野 昇
	質問事項・要旨（具体的な質問事項）				答弁者
	《一問一答》				
1	袋井駅北口市有地貸与、市営駐輪・駐車場運営管理を袋井商工会議所に移譲する問題について <p>(1) 本年7月20日付け商工会議所の文書に「市より現駐車駐輪場の運営管理を移譲したい旨の要請があった」と記載されているが、その要請は事実か。</p> <p>(2) 誰がそのような要請をしたのか。</p> <p>(3) 運営管理移譲は、市の庁議・議会で了承されていないのに、移譲の話を持ち掛けるのは、民主主義に反すると考えるが、市長の見解を問う。</p> <p>(4) 商工会議所の内部文書に、「当時の副市長から駅北口市有地有効活用検討の話があり」とあるが、当時の副市長とは誰か。</p> <p>(5) 現在有効活用され、市財政にも貢献している市有地の貸与および駐輪・駐車場の運営管理（経営権）移譲は、市民・市当局・市財政にとりマイナスと考えるが、市長の見解を問う。</p> <p>(6) この問題は総合センター商工会議所42%持ち分の買い取りとリンクしている。厳しい財政状況、市庁舎スペースの余裕状況から、買い取る必要はないと考えるが、市長の見解を問う。</p>				市長
2	可睡寮の老朽化について <p>(1) 袋井市立養護老人ホーム可睡寮が老朽化しているが、市として今後長寿命化を図る改修計画があるか。</p>				市長
3	中学生によるシティプロモーションについて <p>(1) 中学生未来会議で中学生が修学旅行先で袋井をアピールしている、今後も袋井を宣伝したい旨の発言や政策提案があったが、それを後押しするためにお茶の小袋（ティーバッグ）を市で作製し、それを中学生が袋井を宣伝する際に利用してもらったらどうか。</p>				市長
4	事前了解権を含む新協定の締結について <p>(1) 市民団体から事前了解権を含む新協定締結を中部電力と結んでほしい旨の要望書が出ているが、11市町の首長の中で在任が一番長く経験豊かな原田市長のリーダーシップを望む声強い。市長として具体的にどのように取り組まれるか。</p>				市長

質問順序	12	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
5	原発災害広域避難計画の策定について (1) 原発災害広域避難計画策定のめどを来年3月としているが、具体的な避難経路やスクリーニングの場所、要支援者の輸送手段確保、市町名でなく実際の避難場所（施設）がその時点でも確定できない場合、避難計画策定の公表は遅らせてもよいと考えるが、市当局の考えを問う。				市長
6	高齢者の定義について (1) 名古屋大学総長松尾清一氏の「75歳以上を『高齢者』と定義する」提言に賛同する。市としてこの提言を、今後の高齢化社会に対応するまちづくり＝市政策に取り入れてはどうか。				市長

質問順序	13	議席番号	6	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	小笠山山麓開発とバイオマス発電 小笠山山麓の開発事業者としてバイオマス発電企業が進出を表明し、地元との協議が進められています。この計画の妥当性と影響について伺います。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 造成工事着手の条件として、間伐材などの燃料調達先の確保を挙げていますが、見通しはついたのでしょうか。 (2) 初期段階の調達計画量は、県内産および県外産の未利用材を年間5万～7万トンとなっていますが、具体的にどこから調達するのでしょうか。 (3) 同じく初期段階では、剪定枝や輸入材などの一般材等を年間3万トン程度で検討しているとのことですが、このうち輸入材とはどのような種類で、どこの国から運んでくるのでしょうか。 (4) 燃料調達において将来的には県内産比率を高め、地域密着型の発電所の運営を目指すとなっていますが、その計画はどのようなものになっていますでしょうか。 (5) 木質燃料の搬送には、大型トラックによる遠方からの輸送が必要となりますが、搬入経路、道路への負荷等は検討されていますでしょうか。 (6) 木質燃料の大量消費によって、地域経済に与える影響にはどのようなものがあるか、想定されているのでしょうか。 (7) 発電所稼働によって生じる燃焼後の焼却灰の処理はどのように考えていますでしょうか。 				市長
2	受動喫煙防止対策の取り組み 受動喫煙対策を強化する改正健康増進法が7月に成立したことを受け、静岡県も「受動喫煙防止条例」の制定を目指しています。日本一健康文化都市を掲げる本市の取り組みについて伺います。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 幼稚園、保育所、小・中学校等については屋内外とも禁煙、努力義務とはなっていますが喫煙場所設置も不可となっています。本市の学校等の現状はどうでしょうか。 				市長 教育長

質問順序	13	議席番号	6	質問者	寺田 守	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
<p>(2) 病院、行政機関等については、屋内外とも禁煙、例外として喫煙場所設置は可となっておりますが、現状はどうでしょうか。</p> <p>(3) 月見の里学遊館、メロープラザ、また、コミュニティセンターの現状はどうでしょうか。</p> <p>(4) 市内の飲食店等において受動喫煙防止対策は進んでいますでしょうか。また、県条例の策定にあたり、禁煙・分煙・喫煙の表示義務について来年4月を目指すとされていますが、本市はどう対応していきますか。</p>					市長 教育長	

質問順序	14	議席番号	1	質問者	森杉 典子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	地域の防災力向上について 地震などの災害はいつ起きるか分かりません。平常時に、いざという時に 対応できる体制をつくっておく必要があります。また、防災に関わる政策・ 方針決定過程や防災の現場に、女性や高齢者、障がい者などの多様な視点 を取り入れる環境づくりが急がれます。 (1) 災害時に、各救護所における医師等の人数は充足しているか伺う。 (2) 防災訓練や防災講座などの防災活動への女性の参加状況を伺う。 (3) 現状の女性防災リーダー育成の取り組みはどうか。 (4) 女性の視点からの、防災の具体的な方法がわかりやすい「防災ブック」 を作成するべきと考えるがどうか。 (5) 災害発生時の、外国人観光客や居住者の避難誘導や安全確保に向けた 情報発信体制を伺う。				市長
2	「まちなかにぎわいづくり」について 袋井駅北口のにぎわいづくりは、駅南土地区画整理事業とともに大切な取 り組みです。袋井市の玄関である市街地を、来街者が回遊するようなにぎわ いのあるまちづくりが必要です。 (1) 駅北口市有地活用事業に伴い、まちなかに駐車場が増えるが、駅と駐 車場が利用者に便利になるような計画を考えているか伺う。 (2) まちなかの空き店舗などを活用する計画はあるか伺う。				市長

質問順序	15	議席番号	9	質問者	戸塚 哲夫	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	水道事業の今後の課題 今後予想される人口減少、節水意識の高まりや、節水機能付き機器の普及等により、今後は水道使用量の減少が見込まれ、また老朽施設や老朽管更新需要が増大することで水道事業の運営は厳しくなることが懸念される。 (1) 検針作業の省略化や、高齢者社会に向け水の使用量から異常を察知する「見守りサービス」の可能なスマートメーターの設置の考えは。 (2) 水道管理技術を技術職員にどのように継承していくのか。 (3) 水道事業の運営権を民間に委ねる「コンセッション方式」・「広域連携」について検討する必要があると思うがどうか。				市長	
2	成人年齢引き下げに伴う課題解決 改正民法が本年6月13日成立、大人の定義が18歳以上と大きく変わった。実際に移行するのは、2022年4月1日であるが、制度変更に伴う課題をどのように克服するのか。3年半後の施行に向けて国はもとより、市の対応も問われてくる。 (1) 飲酒や喫煙は、健康への配慮から20歳未満禁止、競馬や競輪などの公営ギャンブルも20歳未満禁止が維持されている一方で、ローンやクレジットカード契約については、18歳でも保護者の許可なく契約を結べるようになり、悪徳商法などの被害に遭うことが懸念される。こうした実情を踏まえ、保護者への周知や中学、高校での消費者教育を充実させる必要があると考えるがこれらの対策を伺う。 (2) 袋井市では1月に成人式を行っているが、18歳成人は大学入試の時期と重なり参加できない人が増える可能性がある。成人式をいつ開くか。また移行初年の2022年度は、成人が例年の3倍となる。会場の確保はどうか。				市長 教育長	
3	スマート農業ができる実践できる体制づくり 市では、現在ICTによる農業支援、水田農業のICT化のための実証実験など積極的に取り組まれている。今後、袋井市がスマート農業の先進市と言われるよう、スマート農業が実践できる体制づくりを目指すべきと考える。 (1) スマート農業を展開する上でサポート体制、IT利活用に精通した人材の育成はどのようにしていくのか。				市長	

質問順序	15	議席番号	9	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
	(2) スマート農業の運用に関するガイドラインの整備や規制緩和は現在どうなっているか。				市長
	(3) スマート農業を展開するため、農業特区制度を使うことは可能か。				

質問順序	16	議席番号	10	質問者	田中 克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	防災について 9月2日は、県下で自主防災組織を中心に突発地震に対する防災訓練が行われました。南海トラフ地震が30年以内に発生する確率が80%まで上がり、Xデーへの切迫性が高まってきています。そこで、次の点についてお伺いする。 (1) 液状化対策 ア 市道や公共施設の敷地について、液状化対策はどのようにされているのか。 イ 市民への液状化対策の啓発・指導は、どのように周知されているのか。 (2) 公会堂避難所における市の関わりはどの程度なのか。 (3) 地区防災計画の取り組みについて、市の考えを伺う。 (4) 学校における防災教育の現状とその取り組みはどうか。				市長 教育長
2	スポーツ振興について スポーツ振興の柱は、生涯スポーツと競技スポーツです。今回アスリートを育てる競技スポーツにスポットを当て、スポーツの推進方策を伺う。 (1) 袋井市スポーツ推進計画の基本目標に「アスリートを育てる競技スポーツの推進」を掲げているが、どのような成果指標をもって取り組んでいるのか。 (2) トップアスリートとの交流促進の実績と今後の計画は。 (3) スポーツ少年団の現状と今後の方向性をどのように把握し、どのような支援を行っているのか。 (4) スポーツ少年団と中学校部活動の連携が重要と考えるが、その取り組み状況はどうか。 (5) クラウンメロンマラソン大会の今後の方向性をどのように捉え、どんな支援をしていくつもりなのか。				市長

質問順序	16	議席番号	10	質問者	田中 克周	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<p>市民要望から</p> <p>市民にしっかりと定着した市の歌やキャラクター「フッピー」について、市民からの要望としてお伺いする。</p> <p>(1) 浜松市や、磐田市では、市歌をカラオケ配信しています。袋井市歌もシティプロモーションの一環としてカラオケの全国配信をしてはどうか。</p> <p>(2) 袋井市歌を学校放送で流したり、また子どもたちが歌うことはどうか。</p> <p>(3) 袋井市のキャラクター「フッピー」の歌を作り、地元の良さや名産品、名所を全国にアピールする考えはどうか。</p>				市長 教育長	